



フッ化物洗口時の 感染症対策のポイントについて

洗口液を扱うとき、
担当者は、
手袋とマスクを
つけましょう。



コップは、
専用又は
使い捨てに
しましょう。

- 紙コップを使用する場合の実施例
- ・児童生徒は、準備ができるまで自席で待つ。
 - ・準備ができたら、先生の合図で一斉に始める。
 - ・終了後、紙コップ内にティッシュを入れ、できるだけ口元に近い位置で洗口液を紙コップに吐き出す。
 - ・各自で、専用のごみ袋に紙コップを捨てる。



うがい中は、
座って少し
下を向いた姿勢で
行いましょう。



フッティー

全ての歯の表面に
洗口液が行き渡るように、
口を閉じて30秒～1分間
ブクブクうがいをしましょう。



- 口を閉じているので、うがい中に飛沫が飛散することは少ないです。

洗口液を、
手洗い場等で吐き出している場合は、
3密を避けるように工夫しましょう。

間隔をあける

換気をよくする

できるだけ
低い位置から
ゆっくり吐き出す

- 洗口の前後には、手洗いと、机や手洗い場等の消毒をしましょう。

【参考】

「北海道フッ化物洗口ガイドブック実践編」(北海道・北海道教育委員会・北海道歯科医師会・北海道歯科衛生士会)
 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」(2021.4.28 Ver.6)
 「新型コロナウイルス緊急事態宣言下における集団フッ化物洗口の実施について」(一般社団法人 日本口腔衛生学会)
 「給食後の歯みがきスタイル」(公益社団法人 日本学校歯科医会)